

登録コード	SD416300	開講年度	2026					
授業題目	野外巡検						担当教員	江島 輝美 他
英文授業名	Geological Excursion						副担当	山田 昌樹
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学年	3年
講義室				授業形態	実習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ							
	【2023年度以降加付対象】理学の各分野における専門知識					長野県では観察することが難しい地質・岩石などについて観察し, 得られた事実の意味を説明できるようになる.		
	【2023年度以降加付対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し, その成果を的確に他者に伝える力					長野県では観察することが難しい地質・岩石などについて観察し, 得られた事実の意味を説明できるようになる.		
	【2023年度以降加付対象】理学の基礎知識と専門知識を活用して課題を発見し取り組み, その成果を社会に役立てる力					長野県では観察することが難しい地質・岩石などについて観察し, 得られた事実の意味を説明できるようになる.		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、防災減災							
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース							
(4)授業の概要	日本列島の中から地域を選定し, 1週間弱かけて野外巡検を行うことで, 長野県では観察することの難しい地質現象や, 地質構造・岩石などの見学を行い, 地質学に関する幅広い知識と視野を獲得することをめざす. 巡検に先だって, 既存の研究成果に関して集団で学習し, 資料集を作成する.							
(5)授業のキーワード	科学リテラシー, 自然科学の基礎知識, 自然科学に対する知識の応用							
(6)授業計画	巡検場所と時期については検討中である(シラバス作成時).							
(7)成績評価の方法	事前の学習会と巡検資料集の作成(評価割合20%), 地質見学に関するレポート(評価割合60%), さらに巡検時の観察および質疑討論(評価割合20%)をもとに成績評価する.							
(8)成績評価の基準	上記の3評価を総合した結果, 90%以上をS, 80%以上をA, 70%以上をB, 60%以上をCとし, 60%未満をDとする. 巡検に参加していてもレポートを提出しなかった場合にはDとする.							
(9)事前事後学習の内容	e-ALPS等で指示する.							
(10)履修上の注意	野外での実習となるため, 学生教育研究災害傷害保険(それと同等以上の保証のある保険でも可とする場合がある)には必ず加入していること. 野外実習と室内での実習・実験では「安全の手引き」の該当部分を参照すること.							
(11)質問,相談への対応	実習中は現地にて, 大学では随時対応可.							
【教科書】	なし							
【参考書】	事前学習会にて提示する.							